

公募に関する QA

Q1 事業の中で受益者負担を設けることは問題ないか？

- 必ずしも受益者負担ゼロで行わなければいけない、ということはありません。利益を目的とせず、妥当な範囲であれば、教材費や旅費といった実費を徴収することは構いません。

Q2 「活動実績が原則 1 年に満たない法人」とは、法人化後に 1 年の期間が必要か？

- 法人前に活動実績があっても今回の要件は満たさず、原則法人化後に 1 年の期間が必要となります（提出書類として、事業報告書・決算報告書を必須としております）。
- ただし、ギリギリ 1 年に満たないといったケースの場合には、上記報告書に代わるものを提出することで認めることといたします。

Q3 活動を大阪府内に限定せず、全国としてもよいか？

- 今回の公募の対象は、「大阪府内での実施を予定している社会課題解決事業」としているため、活動の比重を大阪に置いていただく必要がございます。
- 例えば、
 - ①事業対象の大部分（7～8 割）が府内
 - ②事業全体としては府外を含むが、公募への申請としては府での実施事業分といった場合には認めることといたします。

Q4 今回の公募では既存の事業も認められるか？

- 今回の公募では、選考基準にも記載のとおり、「既存事業の延長ではない新たな取組み」であることを重視しております。申請事業においては、コロナ禍を受けて新たな課題、対象、支援に取り組むといった要素が求められます。

Q5 他の委託事業等と今回の公募の寄付金の併用は可能か？

- 事業単独での収支管理を行うなど、明瞭な会計処理をしていただける場合は、本公募としては差し支えありません（委託事業等のほうで問題がないかについては、委託元等にご確認ください）。

Q6 選考基準と SDGs との関係は？

- 選考基準に記載はありませんが、申請の前提として、SDGs の 17 のゴールのいずれか項目と紐づいていることが必要です（申請書においても、関連する SDGs のゴールを記載いただくこととしております）。

Q7 結果の通知はどのような形でなされるのか？

- 結果の通知は、3 月中に全員に文書の形で通知いたします。なお、採択・非採択の理由等に関する電話やメールでのお問い合わせには応じることはできませんので、予めご了承ください。

Q8 クラウドファンディングが原則となっているが、例外は認められるのか？

- 用途指定寄付等、「4～6 月の期間内」に「当該事業に対して」寄付を集めたことを、「可視化できる形」で証明できるのであれば、クラウドファンディング以外のやり方も認められる可能性はありますが、資金提供先との個別協議が必要となります。

Q9 クラウドファンディングにおける資金提供先のサポートとは？

- 資金提供先には、クラウドファンディング事業者などを講師に迎えたオンラインセミナーの設定など、必要に応じてクラウドファンディングサイトへの繋ぎや勉強会などをさせていただきます。

Q10 クラウドファンディングで目標より多く集まった場合、提供額はどうなるのか？

- 目標額より多く集まった場合も、マッチング寄付は採択時に決定した金額といたします。
(例 300 万円が目標のところ 400 万円が調達できた場合でも、マッチング寄付は 300 万円となります)

Q11 クラウドファンディングで目標額に届かなかった場合の対応は？

- 目標額に達しない場合も、事業を縮小・変更する形で実施させていただきます。

Q12 利用可能なクラウドファンディングサイトは？

- 大阪府としてクラウドファンディングサイトの指定はいたしませんので、好きなサイトを利用していただいて構いません。

Q13 なぜクラウドファンディングを行う必要があるのか？

- 本事業は、一度支援して終わりではなく、提供資金をシードマネーとして、NPO の活動や取り組む社会課題を多くの方に知ってもらうことが一つの目的となっております。資金提供先との協議の結果、令和 3 年度においては、寄付行動をとってくれる人（支援者）を増やし、支援終了後も継続的に活動を続けられるようにするため、原則クラウドファンディングを要件といたしました。